

審 議 会 等 の 会 議 結 果 報 告 書

課所名

生涯学習課美術館

会 議 名 令和5年度第2回諏訪市美術館協議会

開催日時 令和6年2月13日(火) 16時 から 17時 まで

開催場所 諏訪市美術館2階展示室

出席者

(出席委員) 金井直、川上圭子、高田一郎、竹森公男、西村文子、根橋ほなみ、花岡克行、藤森民雄、藤森汎、宮坂武芳(敬称略)
 (オブザーバー) 玉本教育委員 ※欠席
 (事務局) 三輪教育長、細野教育次長、五味文化芸術担当課長、濱館長、北原主任、仁科学芸員

資 料 令和5年度第2回諏訪市美術館協議会 資料

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1. 開会

2. 教育長あいさつ

3. 委員長あいさつ

4. 議事

(1)令和5年度事業経過報告

(2)令和6年度事業計画

(3)美術資料の寄贈について

<主要な意見>

●令和5年度特別展「過去の情景と未来の風景」は、一般から作品を募集した初めての展覧会。出品者の反応や周囲の声からも、やって良かった展覧会だったと思う。反省や検証結果を今後活かしてほしい。

●宣伝、PRが足りない。もっとチラシで展覧会の主旨を訴えたりマスコミを活用したり、宣伝に力を入れるべき。

●「アートを身近に！美術館が出張します！」について。出張美術館は今この美術館でも主流な活動として実施している。大変だと思うが負担とならない程度に、内容を精査して事業を継続してもらいたい。

●初任教職員研修等での来館鑑賞など、対市民だけでなく教職員など内輪的な取り組みへの協力を継続し、市の文化歴史等への理解や施設活用につながると良いと思う。

●令和6年度の展覧会計画について、作家の選定の経緯や企画の意図等を協議会に情報共有する時期や内容に工夫をお願いしたい。

●令和6年度に計画している一連の展覧会につながりを作るという観点から、美術の領域を超えたソーシャルインクルージョンをプラスアルファとして、戦略的にイベントに取り入れてみてはどうか。

●根底に流れるものを持ちつつ、目新しいものも取り入れる、といった中長期的な切り口で、展覧会の意図を上手にアピールすると良い。やりたいことを見せることで、単発的な印象にならない工夫をしてはどうか。

○美術資料寄贈選考委員会結果報告について

対象作品 86 点について審議いただいた結果、受け入れ作品 73 点、資料として受け入れ作品 6 点。

5. その他

6. 閉会